

+幸せを探すあなたへ

私はまったく希望がない者でした



私は幼い時、6回も死にそうになりました。火災だけで3回も会いました。また、水で2回、死ぬところでした。6.25(朝鮮戦争)の後で、村全体が火事になって、とても難しい状況の中、釜山で最も貧しい町に移るようになりました。中学校1年の時、私の父が亡くなりました。私はあまりに苦しい状況だったので、朝早く新聞配達をしました。そのときに、運転手の失敗で、高いトラックから落ちたことがありました。学校に行くことができなくて、家に帰ったのですが、とうてい耐えることができなくて病院に行きました。医師から死ぬ直前だったと言われました。私の手足をしばっておいて、私の腰に筒のような注射針を刺しました。血が出てきて、膿を筒の二本半、抜きました。このように、神様は死の中から私を救い出してくださいました。しかし、私は青少年の時に、福音の恵みをまったく知りませんでした。教えてくれる人もいなくて、聞く心も私にはありませんでした。私はますます、どん底に落ちるようになって、大きい困難の中に陥るようになりました。自殺も考えてみました。時間が流れるほど、ますますおかしな人になって行きました。勉強もよくできて、悪い性格の持ち主でもなかったのですが、まったく希望がない者になってしまいました。

最後にもがきました。 宗教では自ら解決しなさいと言うのですが、私の問題を自ら解決することはできませんでした。また、悔い改めることもしました。しかし、私は悔い改める力もなかっただけでなく、私も知らない罪がもつ

と大きかったのです。また、多くの善いことをしなさいと言われました。私は善いことをする力がありませんでした。教授の講義を聞いてみて、数多くの政治家のメッセージを聞いてみたのですが、私には希望にも、答えにもなりませんでした。力がなくて死んでいく私に、人生の答えになる道は、世の中にはなかったのです。

そのようなある日、大きい恵みを受けました。 神様が、かなり以前に約束してくださっていました。あなたの問題を解決するために、キリストを送り、あなたの罪を全部許す、あなたの力で解決できないのでキリストを送って、あなたのすべての呪いを十字架に釘付けとおっしゃいました。そのみことばが、私の心の中の深くに届きました。私の姿そのまま、神様の前に進みました。イエス・キリストを通して神様に会ったあと、多くの答えを受けました。それだけではありません。

ある日、知るようになりしました。 多くの立派な方々、多くの人々が幸せでもないのに幸せなように、ものすごい問題があるのにないふりをして、隠して嘘をついているという事実を知りました。その時、私の心の中に、人間を救うことを願う神様の愛の強い思いを情念として持つようになりしました。私はこの奥義を語ることに決心しました。お金がなくても良いから、このことをすると決心しました。成功することができなくても良いから、このことをすると神様に自分の信仰を告白しました。ところで、神様が私に答えをくださいました。多くの方が実力を自慢するのですが、私は神様の恵みで30年間、伝道運動のために飛ぶように走ってきました。神様が与えてくださった恵みの十万分の一にもならない感謝を申し上げながら生きてきました。多くの方が、成功のために走るのですが、私は神様の福音と栄光のために走ることにしました。すると500人を越える悪霊につかれた霊媒師が立ち返って、癒されました。神様は世界を生かす方法も分かるようにされて、メッセージもくださいました。そして、いのちをかけて福音運動に参加する人々を付けてくださいました。全世界に福音を持った実力ある次世代が起きているのを見ました。ところが、私はずっと弱かったです。仕事も多くて、考えなければならぬことも多くて、疲れたりもしました。しかし、神様はまた力を与えてくださいました。私は神様の前で全面的に祈りました。歩きながらも祈って、食事をしながらも、失敗しても、その中ですら祈りました。

このとき、神様は大きいビジョン 3つをくださいました。「全世界を生かす1千万弟子を立て起こしなさい。その道は次世代を立て直す道しかない!」神様に祈りました。「神様、次世代のために、私と牧師たちは、命をかけます」神様が二つ目のビジョンをくださいました。「次世代を立て起こして、文化を変えなさい!」三つ目のビジョンをくださいました。神様は「7千8百万を越える難民を救い出しなさい、十億を越える飢え死ぬ人々を家族にしなさい。その道は次世代を立てる道しかない!」こういうビジョンをくださいました。神様がくださった恵みがどれくらい大きいかわかりません。

主よ、私の生きる中に...私は、次世代を見ながら、神様に感謝しました。神様は彼らを捨てられないでしょう。神様は皆さんを最後まで握られるでしょう。世界福音化されるその日まで握られると確信しました。昨年、一年間、私は神様の前でたくさん考えました。この多くの祝福があまりにも多くのことを私に考えさせるようにしました。私がたくさん高慢になっているという事実を知ることになりました。高慢になりたかっただけではありませんが、高慢になっているのだなという事実を知ることになりました。神様の恵みに感激しながらも、働きで失敗が多かったということを知ることになりました。

一年間、祈って一人で川辺に行きました。一日中祈りながら文章を書きました。神様に先に覚悟を告白しました。私と私たちの子孫が弟子の道にあるようにしてくださいと、伝道者の道にあるようにしてくださいと。私と私たちの子孫が宣教の道にあるようにしてくださいと。そして、神様の前に五つのことを悔い改めました。私は皆さんの大きい祝福と助けを少しの間、忘れてしまい、とても大変なことをしていると思いました。それで、神様にこのように祈りました。「私を越えて、神様の恵みで行かせてください」私は多くの答えを受けたことを知っていて、また、受けているのですが、神様にこのように悔い改めました。答えを越えて、神様の願いに向かって行かせてくださいと...私は多くのことをしたと思いました。また、できてきたのも事実です。私は神様に悔い改めました。働きを越えて、神様の計画の中に行かせてくださいと...私は多くの祝福

を受けました。また、そのように思っていました。私は、それを悔い改めました。神様、次世代が起きるその日まで、この祝福を越えて、神様の契約の中に行くようにさせてくださいと...そして、私の高慢によって試みにあった人もいて、心の病気の人もいるのに、すべての人に良くしてあげることがなかった誤りを悔い改めました。人間の愛を越えて、神様の愛を見るようにさせてくださいと祈りました。私はこの文章を書く間、次世代を思いながら泣きました。神様は、次世代を通して世界福音化されることを私は確信しました。

私は苦しい時、このように祈ります。神様は私をご存知ですね、どれだけ無能で、ずるがしこいのかを...しかし、どれだけ福音を愛するのか...4百万マイルを越えて飛行機に乗りながら何をしたのか神様はご存知でしょう。飛行機の中で、列車の中で、車の中で、多くの文章を書いたのを神様はご存知でしょう。次世代を立て直して下さい。もし、神様が私に健康をくだされば、牧師たちといっしょに次世代のために命をかけます。それで、神様の栄光が全地にあらわれるようになります。「神様が、みなさんを世界の置かれる前から準備されて、この時代のために呼んで会わせてくださいました。みなさんとともに、この祝福を味わうことを願います。

伝道者の告白_柳光洙牧師、文章_チャ・ドンホ牧師

伝道者の祈り

神様、
今まで多くの恵みをくださったことをありがとうございます。
しかし、申し訳なく思っています。
謙虚に主のために、次世代のために生きるようにさせてください。
大胆であっても、高慢ではないようにさせて下さい。
世界に向かって走りますが
神様を見上げるようにさせてください。
大きい力を必要としますが、神様の力でするようにさせてください。
私たちの次世代を永遠に神様が用いられると信じます。
今日も契約的な決断の日になるようにしてください。
イエス・キリストの御名によってお祈りします。
アーメン



毎日毎日の森の泉

11日(月)

伝道者の未来(マタイ 24:14)

伝道者は聖霊の内住、導き、満たしという奥義を持っていて、歩みごとに福音を伝えることと、世界福音化の時刻表の中にいる自分を発見して確認すれば良いのです。それで、現場で伝道者としての覚悟と決断を下す時、神様の働きは始まるでしょう。

12日(火)

伝道を通じる人々(使徒 19:21)

伝道は神様の全てのことと通じる道です。それで、伝道を通じる重職者と地域の弟子が立てられる時ごとに、時代を変える答えが起きて、時代の歴史を動かすようになります。この出会いを置いて祈りを始めなければなりません。

13日(水)

唯一性の祝福に用いられる者(使徒 9:1~15)

福音は唯一です。したがって、すべての判断と選択を福音ですれば、神様の働きが始まって、唯一性の答えを受けようになります。それで、24時間祈り、伝道、献身、導き、栄光のために生きれば良いのです。

14日(木)

異性に関して(1 コリント 13:1~13)

次世代の異性の出会いは、真実が通じて、お互いの信仰と未来と学業を理解して役に立てるくらいならば、良い友人であり、良い出会いです。事実的な愛と使命的な愛を越えたアガペーの愛のレベルまで行かなければなりません。

15日(金)

信じるなら神様の栄光を見る(ヨハネ 11:33~44)

聖書の真理は、人のレベルと常識を越える素晴らしいものです。それで、私たちが神様のみことばに対する信仰を告白して、イエス・キリストがすべての問題解決者であることを告白するとき、神様の栄光を見るようになります。

16日(土)

私を発見する出会い(マタイ 4:18~22)

神様の中で、イエス・キリストの中で、神様の大きいみわざの前で私を発見すれば、成功するようになります。キリストを通して暗い時代を生かす働きに、このことを果たす教会の中に、死んでいく現場を生かすために私を呼ばれました。

週間メッセージ

- 産業宣教 | 人間主義は大きなことを成し遂げられない-神様中心主義は世界を生かせる(創世記 13:14)
- 伝道学 | 学業と祈り(使徒 1:8)
- 核心訓練 | 夏の修練会を出会いの祝福に(使徒 18:1~4)
- 聖日1部 | ぶどうの木のとえ(ヨハネ 15:1~7)
- 聖日2部 | 集まる教会と散る教会の祝福(使徒 2:41~47)

千年が一日のような祝福の日

神様がこの時代に希望されること 神様は確かに世界福音化の青写真を持っておられます。中国の周の国の姜太公の話のように、王の視線が留まるだけでも人生が変わります。神様の子どもで、重職者になった私たちは、全知全能な神様の視線がどこに向かっているのか、希望されることは何なのかを見れば良いのです。今日、世界はサタンの働きによって苦しんでいます。それで、神様は福音で暗やみの勢力を打ち砕いて、地域を生かす重職者を呼ばれました。

祝福の日にしなければならぬ五つの理由 ダビデの告白のように、人間の生死と災い、祝福は、神様の御手によります。神様が祝福してくださらないければ、千年間、積みあげたものも一日で崩れます。しかし、神様が祝福されれば、皆さんの一日が千年の祝福になることができます。いつそうなるのでしょうか。最初に、だれも行かなかった呪われた地で

あるサマリヤに、福音を持った者の足が向いた時です。弟子たちが一つの地域を定めておいて、持続的に入る日、祝福の門は開かれるようになります。二つ目、その時、黄金漁場を見る目が開かれて「ああ、神様が私とともにおられるのだな！私たちに働かれるのだな！」という事実を見るようになります。三つ目、その中には必ず救われるように備えられたたましいがあります。神様が祝福の日を与えられる理由が、まさにこういう出会いの祝福が備えられているからです。四つ目、その中に地域を生かす備えられた弟子がいるので、私たちは一つの地域に祝福の日を作って、持続しなければなりません。五つ目、そのように見れば、また他の重職者を現場に立てるようになります。これが一つの地域を生かして、世界を生かす鍵(key)です。その時、専門家も生かすようになって、宣教現場も生かすようになります。神様の関心がここにあります。

+今週の黙想

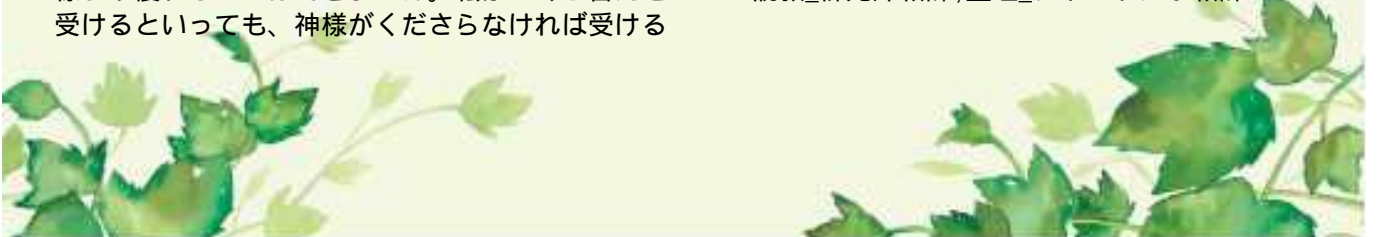
神様の前で・・・

人間主義と神様中心主義 私の力で仕事をすれば限界がくるとき崩れるようになりますが、神様がくださる力で仕事をすれば、地の果てまで証人になるようになります。出エジプトした後、カナンを征服したカレブは、最後まで神様の前に立った隠された指導者で、ヨシュアに仕えながら主役の祝福を味わいました。私が主人になった人間主義は、決して私の限界を抜け出すことができません。どんな答えや、どんな状況がきても、まず神様の前に立つ神様中心主義は、全てのものを変えることができ、世界を生かすことができます。神様の前に立つ信仰と祈りが優先されれば、聖霊の働き、方法、唯一性の答えが出てくるようになります。祈りから出る力を防ぐことは世の中にありません。

主よ、私の生きる中で 私がいくら優秀でも、神様より優れることはできません。私がいくら答えを受けるといっても、神様がくださらないければ受ける

ことができません。それで、私を越えて神様の恵み、神様の願いを握らなければなりません。目の前の祝福より、神様の契約を握らなければなりません。私たちは救われた神様の子どもなのに、何のために未信者のように、人間の慰めと人間関係に縛られるのでしょうか。神様の愛で越えなければなりません。これらの中で与えられる出会いは、永遠な祝福で、伝道者の祝福です。私たちがしなければならぬことがあるならば、福音の中に、みことばの中に、聖霊の中にとどまることです。そうすれば、自然に実を結ぶようになって、求めるものがみななされるようになります。こういう奥義を持った弟子が契約の情念を抱いて教会で力を得て、現場に入って、唯一性の人生を生きる時、初代教会が受けた集まる教会と散る教会の答えをそのまま受けるようになります。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師





哲学で 神様に会うことはできるのですか

人々は、だれでも好奇心がある。ある物事を見る時、漠然と気になる中で、なぜそうなのかと考えて、自

分なりの原理を発見するのだが、結局、分別がつくようになれば、現実の問題に対する実際的な答えを見つけるようになる。このような体系的原理が科学を作ったのだが、考えで科学的な答えを発見するのが哲学だ。しかし、今日では、考える人々が考えることに負担を感じて、考えないようにしようという考えに留まっている。

それで、すべての学問と人生で最も根本的に重要なのが哲学で、哲学を疎外させた哲学がない生活を送ろうとするのだが、実際には、すべての人々は自分の哲学を持っていて、その信念にあまりにも忠実にする。人間の信念がある考えがまさに哲学だ。正しい哲学を持ったとすれば、道を正しく行けるが、普通の人々は、哲学の祝福をのがして、自分の固執の哲学でとんでもない道を行っている。

歴史の中で発展してきた人々の普遍的な認識の中で、最も良い席を占めたものがあるならば民主主義だ。多数の大衆の選択によって普遍的な答えを追求するこの方式は、少数の不便を多数の便利のために譲歩させる形態で歴史の中で発展してきた。このような選択に慣れてしまった人々が、哲学も同じ意味で理解して、ここに宗教的な力も加勢するので、心理と競争する時にも、この原理に従おうとする誘惑を受ける。

哲学は光の中で育ってきた考えでなく、はじめから混とんと暗やみと空しさの中で生まれてきて、苦しみを抜け出そうと思う人類の普通の意志の中で発

展したことなので、哲学は人間の救いのための問題提起は可能だが、それは人間の救いのための解答はできない。

一度も光を経験することもできない人は、光を言うことも、考えることもできない。人類の胎動以後に、哲学の経験の中でただ一度も救いの経験や考えがなかったのが、哲学は人間の救いの考えではない。考えは存在するが、考えの現実の中にある救いを成し遂げる道ではないのだ。道に対する多くの人々の論があるが、道を知らない者の理論は、たわごとに過ぎない。

神様は哲学の完成のためにキリストを送られたのではなく、福音を聞く者の救いを成し遂げるためにキリストを送られたのだ。それでも、哲学の正しい道は真理に向かってくる者の道をよじれるようにさせて、哲学の清潔さは、真理を味わう者を恥ずかしくさせる。

しかし、哲学を深く味わった使徒パウロは、哲学にだまされないようにと言う。哲学をすることはだれでも自由で、必要なことだが、哲学の論理が正しくても正しい道ではなく、哲学の能弁は福音の愚かさに至らない。だれでも哲学が福音の中で信仰で告白される時だけが、哲学はその時にはじめて光を得るようになるのだ。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください